炎に立ち向かう
Focus on the Flames

August 4, 2016

Original text by Senior Airman Delano Scott
374th Airlift Wing Public Affairs

横田消防署（横田基地第374施設中隊）は8月1日、航空機事故で火災が起こった場合を想定した消火訓練を実施した。

航空機燃料火災が発生した際の対応力の強化を図るため、横田基地では、実機大の航空機モックアップを使用した実火災消火訓練を定期的に行っている。

（写真1）激しく立ち上る炎に立ち向かう消防隊員。

1

（写真2）消防車の消火ホースを操る第374使命支援群司令官スコット・マスカリー大佐。

消防隊員たちの即応態勢の理解を深めるため、マスカリー大佐自身も消防隊員に混じって訓練に参加し、指揮および即応力の強化を図った。

2

（写真3）炎上する航空機に集中放水を行う横田消防署の隊員。

横田基地では、航空機、建物、フラッシオーバー装置（室内の局所的な火災で短時間に火が拡大するシステム）などを用い、消防隊員がさまざまなケースの火災に備える消火訓練が行われている。

3